

中学基礎がため100%

できた! 中学国語

文法

別冊
解答と解説

→ていねいに引っぱってください。別冊解答になります。

KUMON

一章 言葉の単位
① 言葉の単位
文章・段落・文／文節・単語

確認①
① 文章 ② 文 ③ 段落

② 段落の初め：最近の・それは

例えば・しかし (順不同)

P5
確認②
① (上から) 文 文節 単語
② 文 文節 単語
③ 単語

(5) (4) (3) (2) (1) (1) (2)
A A A A A 文 文 文 文 文 文
ア イ イ イ ア (2) 文 文 文 文 文 文
B B B B B 文 文 文 文 文 文
イ ア ア ア イ (3) 単語



一章 言葉の単位
② 文節と単語
文節と単語の分け方 1

P6
確認①
① 犬がく走る。
父とく散歩をくする。
美しいく絵がくある。
庭にく水をまく。
新幹線でく京都へ行く。
先生はくいつもくやさしい。
授業のく復習をく毎日く行う。
静かなく公園でく少しく休む。
僕はく水がく飲みたい。

② (1) (3) (2) (1) (3) (2) (1)
③ (1) (5) (4) (3) (2) (1)
犬がく走る。
父とく散歩をくする。
美しいく絵がくある。
庭にく水をまく。
新幹線でく京都へ行く。
先生はくいつもくやさしい。
授業のく復習をく毎日く行う。
静かなく公園でく少しく休む。
僕はく水がく飲みたい。

P7
確認②
① 振り回す チェックする 細長い 心苦しい
注意する

(5) (4) (3) (2)
母はく本をく読むのがく好きだ。
弁当をく残さずくきれいにく食べた。
二人でく重いく荷物をく部屋にく運ぶ。
今年のく夏はく意外とく涼しいとく思う。
振り回す チェックする 細長い 心苦しい
注意する



確認③
① 静かではくはない・よくはくはない
悔しくはくはない・確実ではくはない (順不同)

(4) (3) (2) (1) (4) (3) (2) (1)
静かではくはない・よくはくはない
悔しくはくはない・確実ではくはない (順不同)
あまりく大きくくはない。
部屋はくきれいでくはない。
プールのく水がく冷たくくはない。
君のく手伝いはく必要でくはない。
友達のく努力はく決してくむだでくはない。
距離がく近くくはないのでく疲れた。
彼がく来ないからくおもしろくくはない。
元気でくはない理由がくわからない。
魚がく釣れないのはく珍しくくはない。

一章

言葉の単位

② 文節と単語

文節と単語の分け方 2

P.8

確認①

- 1 帰ってくる 呼んでみる 買って置く
- 笑っている 教えてやる

- 2 道を聞いてみる
- 牛乳を飲んでみる

- 3 飛んでくるのは鳥だ。
- 美容院で髪を切ってもらおう。
- 母が弁当を作ってくれよう。
- いとこは北海道に住んでいる。
- 描きあげた絵を飾っておく。

確認②

- 1 近所・図書館・行く

(順不同)



P.9

確認③

- 1 空が明るい。
- バスから降りる。
- 数学の問題を解く。
- 玄関でコートを脱ぐ。
- 定規で線の長さを測る。
- 僕はいつも同じ時間に起きる。
- 星がきらきらと光を放つ。
- 赤ちゃんの手はとてもかわいい。

2

解説

確認④

確認⑤

- 1 ア (2) ア (3) イ (4) ア

- (1) 乗せてあげる
- (2) 変わって行く
- (3) 読んでもらう

一章

言葉の単位

テスト

P.10

確認①

- 1 文節…イ 単語…ウ
- 文節…ウ 単語…オ
- 文節…ウ 単語…エ



解説

「(で)」の形の言葉は、二文節三単語と数える。▼P.9 確認⑤

- 2 (1) (文節) 暑いから帽子をかぶる。
- (単語) 暑いから帽子をかぶる。
- (2) (文節) 子供がプールへ飛び込む。
- (単語) 子供がプールへ飛び込む。
- (3) (文節) 僕の絵を見てもらう。
- (単語) 僕の絵を見てもらう。
- (4) (文節) 庭に赤い花が咲く。
- (単語) 庭に赤い花が咲く。
- (5) (文節) 数学のテストの勉強をする。
- (単語) 数学のテストの勉強をする。
- (6) (文節) 遅くまで勉強する。
- (単語) 遅くまで勉強する。

解説

(2) (6) の「飛び込む」・(6) の「勉強する」は複合語なので、一文節一単語。▼P.9 確認④

- (3) 「見てもらう」は、「(で)」の形の言葉なので、

P.11

確認 3 (1) 二文節三単語になる。▼P.9 **確認 5**
4 (1) 四 (2) 四
 (3) (3) (1) ④
 「とれたのです」で、一文節である。「とれ」だけが自立語で、「た」「の」「です」は付属語。

解説

(1) (2) (1) (2) (1) (2)
 「たたいてくれる」は、「〜て〜」の形の言葉なので、二文節三単語になる。▼P.9 **確認 5**
 (2) ④は「できない」、③は「もらわなければ」、②は「とれないほど」で一文節。

第二章 文の成分

① 文節の関係

主・述の関係

P.12

確認 1

1 (1) 主語…ピッチャーが 述語…投げる
 (2) 主語…夕日が 述語…美しい
 (3) 主語…これが 述語…作品だ
 (4) 主語…飲み物が 述語…ある
2 (1) ア (2) イ (3) ウ (4) エ
 (2) (2) (3) (4)
 水が冷たい。 番犬がいる。
 弟が泣く。 これが学校だ。
3 (1) (3) (1) (3) (1) (3)
 洗濯物が 消しゴムは
 彼女こそ
2 (1) (2) (1) (2) (1) (2)
 述語…勉強する 主語…山田君も
 述語…丸い 主語…地球は

P.13

確認 2

1 (1) (3) (1) (3) (1) (3)
 (2) (1) (3) (1) (3) (1) (3)
 述語…丸い 主語…地球は

P.14

確認 1

1 (1) (4) (1) (4) (1) (4) (1) (4) (1) (4)
 料理を 集まる 情報が
 とる (2) (3)
2 (1) (4) (1) (4) (1) (4) (1) (4) (1) (4)
 花が 中から 低い
 練習する (2) (5) (6) 笑う
 まぶしい (2) マラソンの (3) とても
 外から (5) 宇宙に
3 (1) (4) (1) (4) (1) (4) (1) (4) (1) (4)
 花が (2) (2) 咲く 教室で・聞く
 連体 連用 (3) (3) 連体
 連用 連体 (5) (2) 連体
 数学の (2) (2) すぐに
 連体修飾語…大きな
 連用修飾語…教室中に
 連体修飾語…うれしい
 連用修飾語…次々と

P.15

確認 2

1 (1) (4) (1) (4) (1) (4) (1) (4) (1) (4)
 料理を 集まる 情報が
 とる (2) (3)
2 (1) (4) (1) (4) (1) (4) (1) (4) (1) (4)
 花が 中から 低い
 練習する (2) (5) (6) 笑う
 まぶしい (2) マラソンの (3) とても
 外から (5) 宇宙に
3 (1) (4) (1) (4) (1) (4) (1) (4) (1) (4)
 花が (2) (2) 咲く 教室で・聞く
 連体 連用 (3) (3) 連体
 連用 連体 (5) (2) 連体
 数学の (2) (2) すぐに
 連体修飾語…大きな
 連用修飾語…教室中に
 連体修飾語…うれしい
 連用修飾語…次々と



P.16

確認 1

1 (1) (2) (3)
 転んだので だから だけど

第二章 文の成分

① 文節の関係

接続の関係・独立の関係

第二章 文の成分

① 文節の関係

修飾・被修飾の関係

P.17

確認②

- ② (4) (1) (4) (1) (1) (4) (3) (1) (1) (4)
- ① 提示 感動 自立 理由 敗れたが 走ると 困ったので だから つらいけれど
- ④ (5) (2) (5) (2) (2) (3) (1) (1) (4)
- ③ (6) (3) (3) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
- ② 感動 呼びかけ 呼びかけ 感動 提示
- ④ ほらほら 条件 ああ 逆接 もしもし

P.18

確認①

第二章 文の成分

② 連文節

主部・述部 修飾部 接続部 独立部

- ① (1) (上から)
- ② (1) (2) (3) (5) (4)
- ① 主部 修飾部 述部
- ② 主部 修飾部 述部
- ③ 主部 修飾部 述部
- ④ 主部 修飾部 述部
- ⑤ 主部 修飾部 述部

P.19

- ⑦ (1) (1) (1) (1) (1) (4)
- ⑥ (2) (2) (2) (2) (2)
- ⑤ (3) (3) (3) (3) (3)
- ④ (4) (4) (4) (4) (4)
- ③ (1) (1) (1) (1) (1)
- ② (2) (2) (2) (2) (2)
- ① (3) (3) (3) (3) (3)
- ④ (4) (4) (4) (4) (4)
- ⑤ (5) (5) (5) (5) (5)
- ⑥ (6) (6) (6) (6) (6)
- ⑦ (7) (7) (7) (7) (7)
- 接続部 独立部 修飾部

P.20

確認①

第二章 文の成分

② 連文節

並立の関係

- ① (1) (2)
- ② (2) (1)
- ① ひまわりが
- ② 咲いた
- ① 大きくて
- ② 深い

P.21

確認②

- ② (3) (2) (1) (2) (1) (4) (1) (4) (3) (2) (1) (4) (1)
- ③ (1) (2) (1) (2) (1) (4) (1) (4) (3) (2) (1) (4) (1)
- ④ (1) (2) (1) (2) (1) (4) (1) (4) (3) (2) (1) (4) (1)
- ① 牛乳を
- ② ほがらかで
- ③ おおらかだ
- ④ バットとボールは野球道具だ。
- ⑤ 父は健康で若々しい。
- ⑥ 高くて険しい山に登る。
- ⑦ 野菜を
- ⑧ 鮮やかな
- ⑨ 僕も
- ⑩ 明るい
- ⑪ 国語や・数学の
- ⑫ まじめで・すなおな
- ⑬ はさみと・のりだ
- ⑭ わかりやすく・親切に
- ⑮ 接続部
- ⑯ 主部
- ⑰ 述部
- ⑱ 独立部
- ⑲ 修飾部



P.22

確認①

第二章 文の成分

② 連文節

補助の関係／まとめ

- ① (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ② (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ③ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ④ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑤ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑥ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑦ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑧ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑨ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑩ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑪ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑫ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑬ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑭ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑮ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑯ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑰ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑱ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑲ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑳ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉑ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉒ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉓ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉔ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉕ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉖ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉗ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉘ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉙ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉚ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉛ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉜ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉝ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉞ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉟ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊱ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊲ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊳ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊴ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊵ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊶ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊷ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊸ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊹ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊺ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊻ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊼ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊽ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊾ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊿ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- 補助の関係／まとめ



P.23

確認②

第二章 文の成分

② 連文節

「作業の」を修飾している。

- ② (2) (1) (3) (4) (1) (5) (3) (1) (4) (1)
- ① (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ② (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ③ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ④ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑤ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑥ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑦ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑧ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑨ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑩ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑪ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑫ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑬ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑭ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑮ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑯ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑰ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑱ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑲ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ⑳ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉑ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉒ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉓ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉔ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉕ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉖ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉗ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉘ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉙ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉚ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉛ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉜ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉝ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉞ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㉟ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊱ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊲ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊳ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊴ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊵ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊶ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊷ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊸ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊹ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊺ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊻ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊼ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊽ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊾ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- ㊿ (1) (2) (3) (4) (5) (6)
- 接続部
- 主部
- 述部
- 修飾部
- 「作業の」を修飾している。

二章 文の成分

◆ 文の組み立て

まとめ

まとめ

- ① 修飾・被修飾 (2) 並立
- ② 主・述 (4) 補助
- ③ 主語・述語・中学生だ ウ
- ④ 主語・食事をえ 述語・通らない ア
- ⑤ 主語・朝露が 述語・輝く ア
- ⑥ 主語には「が」や「は」だけでなく、「も」や「さえ」が付くこともある。▼P.13 確認②
- ⑦ 主語と述語の順序が逆になっている倒置の文。
- ⑧ 姿が ⑨ 映る ⑩ 映る
- ⑪ 連用修飾語 ⑫ 姿が ⑬ 連体修飾語
- ⑭ 用言をふくむ文節を修飾する文節が連用修飾語、体言をふくむ文節を修飾する文節が連体修飾語である。
- ⑮ P.15 確認②
- ⑯ 独立語…ねえ 記号…イ 独立語…いや 記号…ウ
- ⑰ 独立語は、ふつう、文の初めにくる。▼P.17 確認②
- ⑱ 作らないと
- ⑲ 確かに めったに (順不同)
- ⑳ エ (4) でも
- ㉑ P.13 確認②
- ㉒ 「人たちは・作らないと」は、主・述の関係。
- ㉓ 「確かに」も「めったに」も、「作らない」の修飾語。▼P.14 確認①
- ㉔ 「(仮に) (料理を) 作ったとしても」という仮
- ㉕ にぎやかで・ない
- ㉖ 置いて・おくので
- ㉗ 修飾・被修飾 (2) 並立
- ㉘ 主・述 (4) 補助
- ㉙ 食事が・済んだら
- ㉚ 大きな・水そうが
- ㉛ ナイフと・フォークを
- ㉜ おもしろく・ない

P.24 確認①

- ① 主・述 (2) 修飾・被修飾
- ② 並立 (4) 補助 (5) 修飾・被修飾
- ③ 並立 (4) 補助 (5) 修飾・被修飾
- ④ ア (5) イ (3) ア
- ⑤ 補助 (2) 述部
- ⑥ 並立 (2) 主部
- ⑦ 主・述 (2) 修飾部
- ⑧ 成分…主部 関係…修飾・被修飾
- ⑨ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑩ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑪ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑫ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑬ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑭ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑮ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑯ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑰ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑱ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑲ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑳ 成分…接続部 関係…主・述
- ㉑ 成分…接続部 関係…主・述
- ㉒ 成分…接続部 関係…主・述
- ㉓ 成分…接続部 関係…主・述
- ㉔ 成分…接続部 関係…主・述
- ㉕ 成分…接続部 関係…主・述

P.25 確認②

- ① 補助 (2) 述部
- ② 並立 (2) 主部
- ③ 主・述 (2) 修飾部
- ④ 成分…主部 関係…修飾・被修飾
- ⑤ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑥ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑦ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑧ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑨ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑩ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑪ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑫ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑬ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑭ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑮ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑯ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑰ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑱ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑲ 成分…接続部 関係…主・述
- ⑳ 成分…接続部 関係…主・述
- ㉑ 成分…接続部 関係…主・述
- ㉒ 成分…接続部 関係…主・述
- ㉓ 成分…接続部 関係…主・述
- ㉔ 成分…接続部 関係…主・述
- ㉕ 成分…接続部 関係…主・述

二章 文の成分

テスト 1



P.26 確認①

- ① 主語…花が 述語…美しい イ
- ② 主語…美術館は 述語…ある エ
- ③ 主語…弟も 述語…中学生だ ウ
- ④ 主語…食事をえ 述語…通らない ア
- ⑤ 主語…朝露が 述語…輝く ア
- ⑥ 主語には「が」や「は」だけでなく、「も」や「さえ」が付くこともある。▼P.13 確認②
- ⑦ 主語と述語の順序が逆になっている倒置の文。
- ⑧ 姿が ⑨ 映る ⑩ 映る
- ⑪ 連用修飾語 ⑫ 姿が ⑬ 連体修飾語
- ⑭ 用言をふくむ文節を修飾する文節が連用修飾語、体言をふくむ文節を修飾する文節が連体修飾語である。
- ⑮ P.15 確認②
- ⑯ 独立語…ねえ 記号…イ 独立語…いや 記号…ウ
- ⑰ 独立語は、ふつう、文の初めにくる。▼P.17 確認②
- ⑱ 作らないと
- ⑲ 確かに めったに (順不同)
- ⑳ エ (4) でも
- ㉑ P.13 確認②
- ㉒ 「人たちは・作らないと」は、主・述の関係。
- ㉓ 「確かに」も「めったに」も、「作らない」の修飾語。▼P.14 確認①
- ㉔ 「(仮に) (料理を) 作ったとしても」という仮

P.27 確認②

- ① 主語…花が 述語…美しい イ
- ② 主語…美術館は 述語…ある エ
- ③ 主語…弟も 述語…中学生だ ウ
- ④ 主語…食事をえ 述語…通らない ア
- ⑤ 主語…朝露が 述語…輝く ア
- ⑥ 主語には「が」や「は」だけでなく、「も」や「さえ」が付くこともある。▼P.13 確認②
- ⑦ 主語と述語の順序が逆になっている倒置の文。
- ⑧ 姿が ⑨ 映る ⑩ 映る
- ⑪ 連用修飾語 ⑫ 姿が ⑬ 連体修飾語
- ⑭ 用言をふくむ文節を修飾する文節が連用修飾語、体言をふくむ文節を修飾する文節が連体修飾語である。
- ⑮ P.15 確認②
- ⑯ 独立語…ねえ 記号…イ 独立語…いや 記号…ウ
- ⑰ 独立語は、ふつう、文の初めにくる。▼P.17 確認②
- ⑱ 作らないと
- ⑲ 確かに めったに (順不同)
- ⑳ エ (4) でも
- ㉑ P.13 確認②
- ㉒ 「人たちは・作らないと」は、主・述の関係。
- ㉓ 「確かに」も「めったに」も、「作らない」の修飾語。▼P.14 確認①
- ㉔ 「(仮に) (料理を) 作ったとしても」という仮

定を表して、あとにつないでいる。

- 4) 接続語 ▼ P.16 **確認①**
- 5) 親子の銀狐は (1) 見え始めました

解説 (1) 「親子の」は「銀狐は」を修飾し、この二文節で主部となる。

- (2) 「ぼつたり」は、どのように「見え始め」たかを詳しく説明する修飾語。
- (3) 呼びかけの言葉なので独立語。 ▼ P.17 **確認②**

第二章 文の成分 テスト 2

P.28 1) 並立の関係…牛と・馬が 深く・静かな 補助の関係…飲んで・いた 見て・いる (順不同)

解説 並立の関係 ▼ P.20 **確認①**

補助の関係 ▼ P.22 **確認①**

- 2) (1) ① ウ ② ア ③ イ
- (2) ① ア ② エ ③ ウ ④ イ

解説 二つ以上の文節が結びついて文の成分になっているとき、それらを主部・述部・修飾部・接続部・独立部という。 ▼ P.18 **確認①**

- 3) (1) ① 並立 ② 補助 ③ 材料と

解説 文節の関係…修飾・被修飾

- 4) (1) (3) ③は、「守り育てたのです」の主部になっている。
- エ (2) 見て過ごす (3) イ (4) 並立

P.29

解説 (1) 文節と文節をつなぐ働きをしている接続語。 ▼ P.16 **確認①**

- (2) 「黙って」は、どのように「見て過ごす」のかを詳しく説明する修飾語。 ▼ P.15 **確認②**

(4) 「恥じたり悔いたり」と順序を入れ換えることができるので、並立の関係。 ▼ P.21 **確認③**

- 5) (1) 健太郎は (2) ① エ ② ウ
- (3) ① 実感しました ② 連用
- (2) ① 「く(する)と」という条件を示しており、接続部である。

(3) 「子供心にも↓実感しました」という修飾・被修飾の関係。また、用言をふくむ文節を修飾しているため、「子供心にも」は連用修飾語。 ▼ P.15 **確認②**

第三章 単語のいろいろ ① 品詞分類 品詞の分類 1

P.30 **確認①** 1) (1) 自立語…鳥・空・飛ぶ 付属語…が・を

(2) 自立語…バラ・花瓶・さす 付属語…を・に (順不同)

2) (1) 自立語…家・のんびり・過ごす 付属語…で

(2) 自立語…ここ・学校・歩き 付属語…から・まで・ます

(3) 自立語…私・弟・い 付属語…に・は・が・ます (順不同)

P.31

確認③
確認②

- ③ 自立語…鉛筆・ナイフ・削る
付属語…を・で (順不同)

- ① 語形が変化する
- ② 飛ば (1) 美しく (3) 静かだ
- ① は・が (順不同)
- ② らしい (順不同)

- ① ① を・に (順不同)
- ② ② たい (順不同)

- ② ① まで・の・は (順不同)
- ② そうだ



第三章

単語のいろいろ

① 品詞分類

品詞の分類 2 / まとめ

P.32

確認①

- ① 魚 (2) 小鳥

- ② 四月・机・時計 (順不同)

確認②

- ① 副詞 (2) 連体詞 (3) 接続詞

確認③

- ① 感動詞
- ② 飛び回る (2) うすい
- ③ はなやかだ



- ② 幸福だ・助ける・丸い (順不同)

解説

「時間」は体言。「そして」「まるで」「あの」「たぶん」は活用しないので、用言ではない。

まとめ

- ① 自立語、活用しない、主語になれる
- (2) 自立語、活用する、述語になれる
- (3) 自立語、活用する、述語になれる
- (4) 自立語、活用する、述語になれる

P.34

確認①

第三章

単語のいろいろ

② 名詞

名詞の性質と働き

- ② ① 運動・体 (2) 適度な・よい
- ③ は・に (①) ③は順不同
- ④ らしい

- ① 自立語 活用 (2) 名前
- ③ 主語 (4) 名詞

- ② 黒板 (2) 青森県 (3) テント
- ④ 気持ち

- ③ 新聞・記事 (2) 病院・診察

- ④ 家族・北海道・旅行

- ⑤ テレビ・評判・サーカス団

- ④ 世界・山・エベレスト (順不同)

解説

「評判」は、「評判がいい。」などのように、主語になることができるので、名詞である。

- ④ レストラン 料理

- ⑤ 弟 リレー 選手

- ⑥ 他人 心 痛み

- ⑦ 琵琶湖 日本 湖 (順不同)

解説

「痛み」の「み」は程度や状態などを表す接尾語で、形容詞・形容動詞の一部に付いて名詞を作る。

- ⑤ 図書館 資料

- ⑥ 単語 意味 辞書

- ⑦ 将来 進路 時間

P.35

P37

確認 ③

1

- (1) こと
- (2) ため
- (3) とおり

確認 ②

1

- (1) 四位・十日目・百円・二十人 (順不同)
- (2) 二頁
- (3) 何ページ

解説

「出張した」は「出張する」という動詞に付属語「た」が付いたものである。

- (6) 父 ニューヨーク
- (5) 山田さん 改札口
- (3) 中山先生 人気
- (2) いとこ 長野県
- (1) 野口英世 伝記

3

- (4) 授業 イギリス
- (2) 野口英世 伝記

夏目漱石・イタリア (順不同)

2

- 普通名詞：麦茶・読書・神社・はさみ
- 固有名詞：熊本県・源氏物語

P36

確認 ①

1

- (1) ① 普通
- (2) ① 普通
- (3) ① 固有

- ② 固有
- ② 普通



第三章

単語のいろいろ

② 名詞

名詞の種類

確認 ②

1

- (1) 主語
- (2) 述語
- (3) 修飾語
- (4) 独立語

解説

「自分たち」の「たち」は、接尾語。上の言葉に付いているものなので、名詞の一部としていっしょに書きぬく。

6

- (4) 父 レコード 趣味
- (5) 質問 人 職員室 (順不同)
- (6) 文法 自分たち 言葉 目的 (順不同)

P40

確認 ①

1

- (1) 自立語
- (2) 活用
- (3) 動詞
- (4) 述語

3

- (1) 帰る
- (2) 書く
- (3) 休む
- (4) 選ぶ

2

- (1) ウ
- (2) 作る
- (3) ある

第三章

単語のいろいろ

③ 動詞

動詞の性質と働き

まとめ

- ① 固有名詞
- ② 普通名詞
- ③ 形式名詞
- ④ 代名詞
- ⑤ 数詞

解説

「こ・そ・あ・ど」が頭に付く言葉を探す。(2)の「彼」は、代名詞ではあるが指示語ではない。

2

- (1) あそこ
- (2) 場所
- (3) その
- (4) この
- (5) どの
- (6) 方向
- (7) こっち
- (8) そっち



P39

確認 ③

1

- (1) 私
- (2) あなた
- (3) 君
- (4) あそこ

2

- (1) 人称
- (2) 指示

P38

確認 ①

1

- (1) あなた
- (2) こちら
- (3) そこ
- (4) そちら
- (5) どこ
- (6) それ
- (7) あっち

第三章

単語のいろいろ

② 名詞

代名詞／指示語／まとめ

2

- (1) はず
- (2) ところ
- (3) ほう
- (4) とおり
- (5) うち
- (6) もの

P.44

確認①

① (1) (右から) 語ら 語る

第三章

単語のいろいろ

③ 動詞

動詞の活用形 1

P.43

確認③

② (5) (1) (1) (1) わかす・愛する・乱す・読む (順不同)

① (1) (1) (1) みる・ある・いる・おく (順不同)

② (1) (1) (1) イイ (6) (2) イイ (2) (2) アア (7) (3) アア (8) (4) アイ

③ (1) (1) (1) 書ける 飛べる (2) (2) 運べる 休める (3) (3) ひける 泳げる

④ (4) (1) (2) (1) (1) 起きる 始める 他 (2) (2) (2) 覚める 鳴らす

P.42

確認①

② (1) (1) (1) (1) 出す (2) (2) 出る

③ (1) (1) (1) 出す (2) (2) 出る

第三章

単語のいろいろ

③ 動詞

動詞の種類

P.41

確認②

④ (1) (5) (3) (1) (3) (1) 着く 倒れる (4) (2) 集める (5) 見る

⑤ (4) (1) (5) (3) (1) (3) (1) 行つ↓行く 続け↓続ける (4) (2) 飲ん↓飲む

⑥ (4) (1) (5) (3) (1) (3) (1) 来る 集める (4) (2) 続け↓続ける (5) 見る

⑦ (4) (1) (5) (3) (1) (3) (1) 行つ↓行く 続け↓続ける (4) (2) 飲ん↓飲む

⑧ (4) (1) (5) (3) (1) (3) (1) 来る 集める (4) (2) 続け↓続ける (5) 見る

⑨ (4) (1) (5) (3) (1) (3) (1) 来る 集める (4) (2) 続け↓続ける (5) 見る

P.47

確認⑤

⑤ (1) (4) (1) (4) (3) (2) (1) (3) (1) (3) (1) 話せ 見れ 語れ (1) (1) (1) (1) 連体 連体 終止 終止 (2) (2) (2) (2) 探す 待つ (6) (3) 注意すれ

確認④

④ (1) (4) (1) (4) (3) (2) (1) (3) (1) (3) (1) 話せ 見れ 語れ (1) (1) (1) (1) 連体 連体 終止 終止 (2) (2) (2) (2) 探す 待つ (6) (3) 注意すれ

確認③

③ (1) (4) (1) (4) (3) (2) (1) (3) (1) (3) (1) 話せ 見れ 語れ (1) (1) (1) (1) 連体 連体 終止 終止 (2) (2) (2) (2) 探す 待つ (6) (3) 注意すれ

確認②

② (1) (4) (1) (4) (3) (2) (1) (3) (1) (3) (1) 話せ 見れ 語れ (1) (1) (1) (1) 連体 連体 終止 終止 (2) (2) (2) (2) 探す 待つ (6) (3) 注意すれ

P.46

確認①

① (1) (4) (1) (4) (3) (2) (1) (3) (1) (3) (1) 話せ 見れ 語れ (1) (1) (1) (1) 連体 連体 終止 終止 (2) (2) (2) (2) 探す 待つ (6) (3) 注意すれ

第三章

単語のいろいろ

③ 動詞

動詞の活用形 2

P.45

確認②

② (1) (4) (1) (4) (3) (2) (1) (3) (1) (3) (1) 話せ 見れ 語れ (1) (1) (1) (1) 連体 連体 終止 終止 (2) (2) (2) (2) 探す 待つ (6) (3) 注意すれ

確認③

③ (1) (4) (1) (4) (3) (2) (1) (3) (1) (3) (1) 話せ 見れ 語れ (1) (1) (1) (1) 連体 連体 終止 終止 (2) (2) (2) (2) 探す 待つ (6) (3) 注意すれ

① (1) (4) (1) (4) (3) (2) (1) (3) (1) (3) (1) 話せ 見れ 語れ (1) (1) (1) (1) 連体 連体 終止 終止 (2) (2) (2) (2) 探す 待つ (6) (3) 注意すれ

解説

「遊ば」は「う」に続いているので未然形。



- (5) (3) 見ろ 見よ
来い 来い
(6) 整理しろ 整理せよ
(4) 寄せろ 寄せよ

三章

単語のいろいろ

3 動詞

動詞の活用表 / 活用の種類

P.48

確認 ①

- 1 未然形…話さ・話そ 連用形…話し
終止形…話す 連体形…話す

- 2 仮定形…話せ 命令形…話せ

- 3 活用語尾

- (1) 未然形…落ち 連用形…落ち
終止形…落ちる 連体形…落ちる

- 命令形…落ちろ・落ちよ (順不同)
「ち」は活用語尾にふくまれているので、
語幹は「お」だけである。



P.49

確認 ②

- 1 き 2 け 3 じ 4 じれ
5 め 6 める 7 力行変格

- 2 サ行変格

- 5 五段 2 上一段

- 3 解説
活用語尾がアイウエオの五段に活用している。
活用語尾がイ段にだけ活用している。

P.50

確認 ①

- 1 力変の動詞…来る

- サ変の動詞…する・愛する (順不同)

三章

単語のいろいろ

3 動詞

活用の種類の見分け方

P.51

- 2 ① ば ② ア ③ 五段
④ ⑤ イ ⑥ ⑦ 上一段
⑧ エ ⑨ 下一段

- 3 ① ② 下一段
③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 4 ① 降り・上一段 (2) 待た・五段
固め・下一段

- 5 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 6 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 7 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 8 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 9 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 10 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 11 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 12 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 13 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 14 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 15 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

P.52

三章

単語のいろいろ

3 動詞

まとめ

- 1 いる・投書する

解説

「思い出せ」は、可能動詞「思い出せる」の未然形。「思い出せない」となるので下一段活用。可能動詞はすべて下一段活用である。「思い出す」は、「思い出さない」となるので五段活用。



確認①

- ① 自立語 活用
- ② 述語
- ③ い

第三章

単語のいろいろ

④ 形容詞

形容詞の性質と働き

解説

- ⑤ 五段 (2) サ行変格 (3) 下一段
- ⑥ 上一段 (5) 力行変格
- ⑦ 出会っ (2) ④ ア
- ⑧ 可能動詞…なれる 活用の種類…下一段
- ⑨ 「出会った」と「た」に続いて促音便になっている。「出会っ」は「出会う」の連用形。
- ⑩ ④は未然形。他は連用形。
- ⑪ 「やめる」は体言「こと」に続いてるので連体形。ア以外は終止形。
- ⑫ 「なれる」は「なることができる」という意味の可能動詞。可能動詞はすべて下一段活用。



解説

- ① 間違える・飛べる (順不同)
- ② あれ↓ある (2) 求め↓求める
- ③ 起き↓起きる (4) 呼ん↓呼ぶ
- ④ 注意し↓注意する (6) 来↓来る
- ⑤ 可能動詞…泳げる 補助動詞…いる
- ⑥ 未然 (2) 連用 (3) 終止
- ⑦ 命令 (7) 連用 (8) 未然
- ⑧ 連体 (5) 仮定
- ⑨ 「た」に続いてるので、連用形。「作り」↓「作っ(た)」と音が変わっているので促音便。



確認②

- ① ほしい (2) よい (3) ない
- ② 「もらう」「くる」「なる」は補助動詞。
- ③ ア (5) イ (2) ア (3) イ (4)
- ④ 赤いろ (2) 赤 (3) 赤く
- ⑤ 赤い (5) 赤い (6) 赤けれ
- ⑥ 未然形…大きかる
- ⑦ 連用形…大きかつ
- ⑧ 終止形…大きい
- ⑨ 連体形…大きい



確認①

解説

- ① ほしい (2) よい (3) ない

第三章

単語のいろいろ

④ 形容詞

補助形容詞/形容詞の活用

確認②

- ① うれしかつ↓うれしい
- ② やさしく↓やさしい
- ③ 長い↓長い
- ④ 丸く↓丸い
- ⑤ 重けれ↓重い
- ⑥ やさしく↓やさしい
- ⑦ 薄い (2) 美しい (3) 怖い (4) 眠い
- ⑧ 珍しかろ↓珍しい
- ⑨ おかし (2) 安い (3) 悲しい
- ⑩ 強い (2) 美しい (3) 楽しい
- ⑪ 寒い (2) 薄い (3) 怖い (4) 眠い
- ⑫ 丸く↓丸い (2) 珍しかろ↓珍しい
- ⑬ 重けれ↓重い (4) おいしかつ↓おいしい
- ⑭ うれしかつ↓うれしい (3) 連用修飾語
- ⑮ 述語 (2) 連体修飾語
- ⑯ 接続語 (3) 連用修飾語

第三章

単語のいろいろ

④ 形容詞

形音の音便 / 形音の活用表まとめ

(2)

- 仮定形…大きけれ
- 未然形…新しかろ
- 連用形…新しかつ
- 終止形…新しく
- 終止形…新しい
- 連体形…新しい
- 仮定形…新しけれ



P.58

確認①

①

- (4) ひろかつ
- (2) ひろく
- (3) ひろう
- (5) おいしゅう

②

(右上から) 恥ずかしかつ・恥ずかしく

確認②

①

- (1) 終止
- (2) 連体
- (3) 連体

確認③

①

- (1) かなし
- (2) うるさ
- (3) ただし
- (4) おおき
- (5) うらやまし

②

- (1) かつ
- (2) かつ
- (3) く
- (4) かつ
- (5) かつ
- (6) かつ

③

- (1) い
- (2) い
- (3) い
- (4) い
- (5) い
- (6) い

④

- (1) かる
- (2) う
- (3) い
- (4) かる
- (5) くれ
- (6) い

- (3) ③
- (2) ①
- (1) ①
- (4) ②
- (5) ②
- (6) ③

(①と②は順不同)

P.60

P.61

まとめ

①

- 短かつ↓短い
- 若けれ↓若い (順不同)

解説

「ならない」の「ない」は助動詞。▼ P.124

②

- (1) 美しい
- (2) 美しく
- (3) 美しく
- (4) 美しい
- (5) 美しい
- (6) 美しく

③

- (1) 終止
- (2) 連用
- (3) 未然
- (4) なごう
- (5) めずらしゅう

解説

①「と」に続いてるので終止形。②「ない」に続いてるので連用形。③「う」に続いてるので未然形。

ウ音便 ▼ P.58 確認①

第三章

単語のいろいろ

⑤ 形容動詞

形容動詞の性質と働き

P.62

確認①

①

- (3) 自立語
- (4) 活用
- (2) 形容動詞
- (1) 述語

P.65

確認③

- ② (1) だろ
- ① (1) 静か
- (2) (2) のどか
- (3) (3) 正直
- (4) (4) に

確認②

未然形…きれいでしょ
連用形…きれいでしよ
連体形…きれいです

P.64

確認①

未然形…きれいだろ
連用形…きれいに

第三章

単語のいろいろ

5 形容動詞

形容詞の活用 形容詞の活用表まとめ



P.63

確認②

- ⑥ (1) 満足だつ ↓ 満足だ
- (2) 述語
- (3) 連用修飾語
- (4) 主語
- (5) 接続語
- ⑤ (1) 静かだろ ↓ 静かだ
- (2) 豊かでしょ ↓ 豊かです
- (3) 明らかかな ↓ 明らかだ
- (4) のんきに ↓ のんきだ
- ④ (1) 立派だ
- (2) 豪華だ
- (3) 必要だ
- ③ (1) 便利だ
- (2) 好きだ
- (3) 静かです
- ② (1) さわやかだ
- (2) 豊かだ

P.67

まとめ

- ⑥ (1) 形容動詞…確かなら 活用形…仮定
- (2) 形容動詞…確実にしよ 活用形…未然 (順不同)
- (3) 形容動詞…確実にしよ 活用形…未然 (順不同)
- (4) 形容動詞…確実にしよ 活用形…未然 (順不同)
- (5) 形容動詞…確実にしよ 活用形…未然 (順不同)
- (6) 形容動詞…確実にしよ 活用形…未然 (順不同)
- (7) 形容動詞…確実にしよ 活用形…未然 (順不同)
- (8) 形容動詞…確実にしよ 活用形…未然 (順不同)
- (9) 形容動詞…確実にしよ 活用形…未然 (順不同)
- (10) 形容動詞…確実にしよ 活用形…未然 (順不同)
- ⑤ (1) 連体
- (2) 連用
- (3) 連用
- (4) 終止
- (5) 連用
- (6) 仮定
- (7) 未然
- (8) 未然
- (9) 未然
- (10) 終止
- ④ (1) だ
- (2) だろ
- (3) だろ
- (4) だろ
- (5) だろ
- (6) だろ
- (7) だろ
- (8) だろ
- (9) だろ
- (10) だろ
- ③ (1) だしよ
- (2) だしよ
- (3) だしよ
- (4) だしよ
- (5) だしよ
- (6) だしよ
- (7) だしよ
- (8) だしよ
- (9) だしよ
- (10) だしよ
- ② (1) だ
- (2) だ
- (3) だ
- (4) だ
- (5) だ
- (6) だ
- (7) だ
- (8) だ
- (9) だ
- (10) だ
- ① (1) だ
- (2) だ
- (3) だ
- (4) だ
- (5) だ
- (6) だ
- (7) だ
- (8) だ
- (9) だ
- (10) だ

解説

①は「よい」、②は「速い」が終止形。「い」で終わるので形容詞。③は「暖かだ」、④は「真剣だ」が終止形。「だ」で終わるので形容動詞。



P.66

三章

単語のいろいろ

活用のある自立語

まとめ

P.68

確認 ①

①

- ア (1)
- イ (2)
- ウ (3)
- エ (4)
- オ (5)
- カ (6)

②

- 安い イ (2)
- 来る ア (4)
- はなやかだ ウ (6)
- 選ぶ ア (2)
- 歩く ア (4)
- 遠い イ (6)

解説

終止形の最後の音で見分ける。

確認 ②

①

- ほしい イ
- しまう ア (3)
- くる ア (5)

P.69

解説

終止形がウ段で終われば補助動詞、「い」で終われば補助形容詞である。

①

- 品詞名…ウ 活用形…d
- 品詞名…ア 活用形…b
- 品詞名…イ 活用形…c

確認 ③

解説

「きれいな」の終止形は「きれいだ」。

②

- 形容詞…狭い 活用形…連体 (2)
- 形容詞…いく

- 活用の種類…五段 活用形…未然
- 活用の種類…下一段 活用形…連用

- 形容動詞…巨大な 活用形…連体
- ④の終止形は「立てる」。「て」に続くのは、連用形。

解説

④の終止形は「立てる」。「て」に続くのは、連用形。

P.70

確認 ①

①

- 自立語 活用
- 状態
- 連用修飾語
- 副詞

②

- いきなり (2)
- ほとんど (3)

③

- 読む (2)
- 冷たい (5)
- 多い (3)
- 静かだ

④

- 言う 動詞
- 冷たい 形容詞
- 暖かだ 形容動詞
- 遊ぶ (2)
- 厚い (3)
- きれいだ (6)
- 高い (4)

P.71

確認 ②

①

- 「細かい説明」、(2)「にぎやかな歌」、(3)「力強いこぶし」、(4)「簡単なこと」などと活用させてみる。活用すれば副詞ではない。

確認 ③

①

- イ (1)
- ア (2)
- イ (3)
- ア (4)
- イ (5)
- ア (6)

解説

「細かい説明」、(2)「にぎやかな歌」、(3)「力強いこぶし」、(4)「簡単なこと」などと活用させてみる。活用すれば副詞ではない。

三章

単語のいろいろ

⑥ 副詞

副詞の種類 1

P.72

確認 ①

①

- はつきり (2)
- のろのろ

②

- パタパタと
- たちまち↓流行する



P.73

確認②

- ① (1) (4) (3) (1) (4) (3) (2)
- ② (1) (4) (3) (2) (1) (4) (3) (2)
- ③ (1) (4) (3) (2) (1) (4) (3) (2)



解説

「すぐに」は状態の副詞。
 文節単位で書きぬくことに注意しよう。

③

- (2) (1) (4) (4) (3) (2) (1) (4) (3) (2)
- ② (1) (4) (3) (2) (1) (4) (3) (2)
- ③ (1) (4) (3) (2) (1) (4) (3) (2)

P.74

確認①

解説

(1)・(3)は名詞をふくむ文節を、(2)・(4)は副詞の文節を修飾している。

- ① (1) 前に
- (2) はっきり
- (3) 以前
- (4) ゆっくり

第三章

単語のいろいろ

⑥ 副詞

副詞の種類 2

P.76

第三章

単語のいろいろ

⑥ 副詞

まとめ

- ① (1) じっくり
- (2) ずいぶん
- (3) おそらく
- (4) くるくる
- (5) すぐ
- (6) とても
- (7) カサカサと鳴る
- (8) すらすらと解けるのは
- (9) だいぶ前に
- (10) ぜひ参加したい
- (11) まったく行けなかった
- (12) かなり伸びた



P.75

確認③

確認②

解説

(1)・(3)は名詞をふくむ文節を、(2)は副詞の文節を修飾している。

- ① (1) だろう
- (2) ない
- (3) たい
- (4) だろう
- (5) ない
- (6) ようだ
- (7) か
- (8) ようだ
- (9) か
- (10) ようだ
- (11) か
- (12) ようだ
- (13) か
- (14) ようだ
- (15) か
- (16) ようだ
- (17) か
- (18) ようだ
- (19) か
- (20) ようだ
- (21) か
- (22) ようだ
- (23) か
- (24) ようだ
- (25) か
- (26) ようだ
- (27) か
- (28) ようだ
- (29) か
- (30) ようだ
- (31) か
- (32) ようだ
- (33) か
- (34) ようだ
- (35) か
- (36) ようだ
- (37) か
- (38) ようだ
- (39) か
- (40) ようだ
- (41) か
- (42) ようだ
- (43) か
- (44) ようだ
- (45) か
- (46) ようだ
- (47) か
- (48) ようだ
- (49) か
- (50) ようだ
- (51) か
- (52) ようだ
- (53) か
- (54) ようだ
- (55) か
- (56) ようだ
- (57) か
- (58) ようだ
- (59) か
- (60) ようだ
- (61) か
- (62) ようだ
- (63) か
- (64) ようだ
- (65) か
- (66) ようだ
- (67) か
- (68) ようだ
- (69) か
- (70) ようだ
- (71) か
- (72) ようだ
- (73) か
- (74) ようだ
- (75) か
- (76) ようだ
- (77) か
- (78) ようだ
- (79) か
- (80) ようだ
- (81) か
- (82) ようだ
- (83) か
- (84) ようだ
- (85) か
- (86) ようだ
- (87) か
- (88) ようだ
- (89) か
- (90) ようだ
- (91) か
- (92) ようだ
- (93) か
- (94) ようだ
- (95) か
- (96) ようだ
- (97) か
- (98) ようだ
- (99) か
- (100) ようだ
- (101) か
- (102) ようだ
- (103) か
- (104) ようだ
- (105) か
- (106) ようだ
- (107) か
- (108) ようだ
- (109) か
- (110) ようだ
- (111) か
- (112) ようだ
- (113) か
- (114) ようだ
- (115) か
- (116) ようだ
- (117) か
- (118) ようだ
- (119) か
- (120) ようだ
- (121) か
- (122) ようだ
- (123) か
- (124) ようだ
- (125) か
- (126) ようだ
- (127) か
- (128) ようだ
- (129) か
- (130) ようだ
- (131) か
- (132) ようだ
- (133) か
- (134) ようだ
- (135) か
- (136) ようだ
- (137) か
- (138) ようだ
- (139) か
- (140) ようだ
- (141) か
- (142) ようだ
- (143) か
- (144) ようだ
- (145) か
- (146) ようだ
- (147) か
- (148) ようだ
- (149) か
- (150) ようだ
- (151) か
- (152) ようだ
- (153) か
- (154) ようだ
- (155) か
- (156) ようだ
- (157) か
- (158) ようだ
- (159) か
- (160) ようだ
- (161) か
- (162) ようだ
- (163) か
- (164) ようだ
- (165) か
- (166) ようだ
- (167) か
- (168) ようだ
- (169) か
- (170) ようだ
- (171) か
- (172) ようだ
- (173) か
- (174) ようだ
- (175) か
- (176) ようだ
- (177) か
- (178) ようだ
- (179) か
- (180) ようだ
- (181) か
- (182) ようだ
- (183) か
- (184) ようだ
- (185) か
- (186) ようだ
- (187) か
- (188) ようだ
- (189) か
- (190) ようだ
- (191) か
- (192) ようだ
- (193) か
- (194) ようだ
- (195) か
- (196) ようだ
- (197) か
- (198) ようだ
- (199) か
- (200) ようだ
- (201) か
- (202) ようだ
- (203) か
- (204) ようだ
- (205) か
- (206) ようだ
- (207) か
- (208) ようだ
- (209) か
- (210) ようだ
- (211) か
- (212) ようだ
- (213) か
- (214) ようだ
- (215) か
- (216) ようだ
- (217) か
- (218) ようだ
- (219) か
- (220) ようだ
- (221) か
- (222) ようだ
- (223) か
- (224) ようだ
- (225) か
- (226) ようだ
- (227) か
- (228) ようだ
- (229) か
- (230) ようだ
- (231) か
- (232) ようだ
- (233) か
- (234) ようだ
- (235) か
- (236) ようだ
- (237) か
- (238) ようだ
- (239) か
- (240) ようだ
- (241) か
- (242) ようだ
- (243) か
- (244) ようだ
- (245) か
- (246) ようだ
- (247) か
- (248) ようだ
- (249) か
- (250) ようだ
- (251) か
- (252) ようだ
- (253) か
- (254) ようだ
- (255) か
- (256) ようだ
- (257) か
- (258) ようだ
- (259) か
- (260) ようだ
- (261) か
- (262) ようだ
- (263) か
- (264) ようだ
- (265) か
- (266) ようだ
- (267) か
- (268) ようだ
- (269) か
- (270) ようだ
- (271) か
- (272) ようだ
- (273) か
- (274) ようだ
- (275) か
- (276) ようだ
- (277) か
- (278) ようだ
- (279) か
- (280) ようだ
- (281) か
- (282) ようだ
- (283) か
- (284) ようだ
- (285) か
- (286) ようだ
- (287) か
- (288) ようだ
- (289) か
- (290) ようだ
- (291) か
- (292) ようだ
- (293) か
- (294) ようだ
- (295) か
- (296) ようだ
- (297) か
- (298) ようだ
- (299) か
- (300) ようだ
- (301) か
- (302) ようだ
- (303) か
- (304) ようだ
- (305) か
- (306) ようだ
- (307) か
- (308) ようだ
- (309) か
- (310) ようだ
- (311) か
- (312) ようだ
- (313) か
- (314) ようだ
- (315) か
- (316) ようだ
- (317) か
- (318) ようだ
- (319) か
- (320) ようだ
- (321) か
- (322) ようだ
- (323) か
- (324) ようだ
- (325) か
- (326) ようだ
- (327) か
- (328) ようだ
- (329) か
- (330) ようだ
- (331) か
- (332) ようだ
- (333) か
- (334) ようだ
- (335) か
- (336) ようだ
- (337) か
- (338) ようだ
- (339) か
- (340) ようだ
- (341) か
- (342) ようだ
- (343) か
- (344) ようだ
- (345) か
- (346) ようだ
- (347) か
- (348) ようだ
- (349) か
- (350) ようだ
- (351) か
- (352) ようだ
- (353) か
- (354) ようだ
- (355) か
- (356) ようだ
- (357) か
- (358) ようだ
- (359) か
- (360) ようだ
- (361) か
- (362) ようだ
- (363) か
- (364) ようだ
- (365) か
- (366) ようだ
- (367) か
- (368) ようだ
- (369) か
- (370) ようだ
- (371) か
- (372) ようだ
- (373) か
- (374) ようだ
- (375) か
- (376) ようだ
- (377) か
- (378) ようだ
- (379) か
- (380) ようだ
- (381) か
- (382) ようだ
- (383) か
- (384) ようだ
- (385) か
- (386) ようだ
- (387) か
- (388) ようだ
- (389) か
- (390) ようだ
- (391) か
- (392) ようだ
- (393) か
- (394) ようだ
- (395) か
- (396) ようだ
- (397) か
- (398) ようだ
- (399) か
- (400) ようだ
- (401) か
- (402) ようだ
- (403) か
- (404) ようだ
- (405) か
- (406) ようだ
- (407) か
- (408) ようだ
- (409) か
- (410) ようだ
- (411) か
- (412) ようだ
- (413) か
- (414) ようだ
- (415) か
- (416) ようだ
- (417) か
- (418) ようだ
- (419) か
- (420) ようだ
- (421) か
- (422) ようだ
- (423) か
- (424) ようだ
- (425) か
- (426) ようだ
- (427) か
- (428) ようだ
- (429) か
- (430) ようだ
- (431) か
- (432) ようだ
- (433) か
- (434) ようだ
- (435) か
- (436) ようだ
- (437) か
- (438) ようだ
- (439) か
- (440) ようだ
- (441) か
- (442) ようだ
- (443) か
- (444) ようだ
- (445) か
- (446) ようだ
- (447) か
- (448) ようだ
- (449) か
- (450) ようだ
- (451) か
- (452) ようだ
- (453) か
- (454) ようだ
- (455) か
- (456) ようだ
- (457) か
- (458) ようだ
- (459) か
- (460) ようだ
- (461) か
- (462) ようだ
- (463) か
- (464) ようだ
- (465) か
- (466) ようだ
- (467) か
- (468) ようだ
- (469) か
- (470) ようだ
- (471) か
- (472) ようだ
- (473) か
- (474) ようだ
- (475) か
- (476) ようだ
- (477) か
- (478) ようだ
- (479) か
- (480) ようだ
- (481) か
- (482) ようだ
- (483) か
- (484) ようだ
- (485) か
- (486) ようだ
- (487) か
- (488) ようだ
- (489) か
- (490) ようだ
- (491) か
- (492) ようだ
- (493) か
- (494) ようだ
- (495) か
- (496) ようだ
- (497) か
- (498) ようだ
- (499) か
- (500) ようだ

解説

(4) 「だいぶ」は程度の副詞で、名詞をふくむ文節を修飾している。

(6) 「行けなかったので」で一文節。「行け」が自立語（動詞「行ける」の未然形）で、「なかつた」「た」「ので」は付属語。

3 どうか (2) もし (3) 決して

4 どうして (5) まるで

4 しばらく・大変・いつも (順不同)

ぜひ

解説

(1) 「しばらく↓下宿する」、「大変↓すなおで」、「いつも↓かわいがって/いた」と修飾する。

(2) 「ぜひ↓ほしい」と呼応する。

5 初めて↓焼いた

なかなか↓おいしい

さっそうと↓出た (順不同)

6 ① やめました ② 回復し

③ 思い出します

A ようだ B か

常に・すでに (順不同)

解説

(2) A 「まるで」と呼応する言葉が入る。

B 「なぜ」と呼応する言葉が入る。

(3) ここでの「多く」は形容詞「多い」の連用形。「確かに」は形容動詞「確かだ」の連用形。



三章

単語のいろいろ

7 連体詞

連体詞の性質と働き

P.78

確認①

1 自立語 活用

2 どんな

3 連体修飾語

4 連体詞

その おかしな

人に (2) 事件が (3) 原宿か

いろんな (2) どの (3) たいした

この↓本は

いろんな↓情報を

去る↓十月四日に

我が↓町の

ある↓日曜日 たいした↓熱では その↓日は

(順不同)

「少し」「すぐに」は副詞である。

解説

P.79

確認②

1

4 (1) (1) (2) (3) 原宿か

3 (1) (1) (2) (3) たいした

2 (1) (1) (2) (3) 原宿か

1 (1) (1) (2) (3) たいした

ある↓日曜日 たいした↓熱では その↓日は

(順不同)

「少し」「すぐに」は副詞である。



P.80

確認①

1

本を (2) 体験を

映像を (5) 猫が

小さな↓容器を

とんだ↓勘違いを

あらゆる↓状況にも

7 連体詞

連体詞の特徴/まとめ

(3) 体験を (3) 打撃は

小さな↓容器を

とんだ↓勘違いを

あらゆる↓状況にも

P.84		P.83		P.82	
	まとめ 確認⑤	確認④	確認③	確認②	確認①
②	①	①	①	①	①
(3) (1) (4) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① それに ところが (5) (2) (4) (2) あるいは	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① だから (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ①	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① なぜなら (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ①	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① また (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ①	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ①	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ①

三章 単語のいろいろ
⑧ 接続詞
接続詞の性質と種類／まとめ

P.81	
確認②	確認③
⑤	①
(5) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① イ ア (2) (2) イ (3) (3) ア (4) (4) ア	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① イ ア (2) (2) イ (3) (3) ア (4) (4) ア

解説
(2) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ①
① 手は ② 瞳を ③ 人と
「別の」は、名詞「別」と付属語「の」。

解説
(2) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ①
① ああ・ある・とんだ (順不同)
連体詞は主語になることができない。

解説
(2) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ①
① 小さい は形容詞。「これ」は名詞(代名詞)。「すてきな」は形容動詞「すてきだ」の連体形。

P.87		P.86	
まとめ 確認③	確認②	確認①	確認①
⑤	②	②	①
(1) (4) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① あいつつ...さようなら (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ①	(1) (4) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ①	(1) (4) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ①	(1) (4) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (5) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ① (4) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) ①



三章 単語のいろいろ
⑨ 感動詞
感動詞の性質と種類／まとめ

P.85	
解説	⑤
(1) (3) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① A 温泉かキャンプのどちらかという意味 なので、対比・選択の接続詞「あるいは」を選ぶ。 「まだ」「まず」「そう」「とうとう」は副詞。	(1) (3) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ① (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (3) ①

確認①

解説

- (1) (5) (1) **ア** (6) (2) **ウ** (7) (3) **イ** (8) (4) **エ**
- (1) (8) (1) の「だから」は順接の接続詞。(8)の「ところが」は逆接の接続詞。ともに前後の文と文をつないでいる。▼ P.82 確認②
- (2) 「すでに↓迎えて/いた」と修飾する副詞。
- (3) (7) (3) の「ある↓人の」、(7)の「どの↓方法が」と、体言をふくむ文節を修飾して活用しないので、連体詞。
- (4) (6) (4) の「もしもし」は、相手に呼びかけるときに使う感動詞。(6)は、あいさつを表す。
- (5) 「そう↓思っ/いたなら」と修飾している。「こう・そう・ああ・どう」は指示語で、副詞。

確認②

解説

- (1) (3) (1) **イ** (2) **災難を** **ア**
- (1) (3) (1) **かわいい** **イ**
- (1) (3) (1) は「しっかりと↓立てたい」、(3)は「ずいぶん↓かわいい」と、それぞれ動詞をふくむ文節、形容詞の文節を修飾している副詞。
- (2) 「とんだ↓災難を」と、体言をふくむ文節を修飾しているので連体詞。

2

かなり↓売れたので
たいした↓度胸だ
あらゆる↓可能性を



「この」は連体詞。「本は」を修飾する。

解説

3

解説

- (2) 「堂々と」は副詞。「言えるなんて」を修飾する。
- (3) 「常に」は副詞。「秘めて/いる」を修飾する。

確認③

解説

- (1) (4) (1) **感動詞** (2) **接続詞** (3) **副詞**
- (1) (2) (1) は、「また」の位置を変えて「電話がまたかかってきた」としても意味が通じるが、(2)の「また」は、位置を変えることができない。
- (3) (4) (3) は「ちよっと↓泳いだ」と用言(動詞)をふくむ文節を修飾。(4)は相手に呼びかけている感動詞で、文中では独立語になっている。

解説

- (1) (3) (2) (1) **イ** (2) **ウ** (3) **ア** (3) **イ** (4) **エ**
- 副詞：よほど↓多いと
- 連体詞：その↓体の
- ① 「たくさん↓食べる」と用言(動詞)の文節を修飾している副詞。
- ② 前後の文を逆接の関係でつないでいる接続詞。
- ③ 体言をふくむ文節「種類の」を修飾している連体詞。

P.93 P.92 P.91 P.90

確認④ 確認③

② ① ④

ア 比較の基準 (2)

ウ (3)

ウ (4)

イ

確認④

① ③

ア 並立 (2)

ウ 場所 (3)

ア 起点 (4)

ア

解説

③ ②

イは主語を示す。
アは連体修飾語を示す。

ア 場所 (2)

イ 時間 (3)

ア 対象 (順不同)

確認②

① ③ ②

ア (上から) が の (5) と へ

ウ の の の (3)

イ が の (2) の の (3)

ウ (連用修飾語を示す) …に…を (順不同)

イ 活用

10 助詞

付属語 活用
主語 助詞

助詞の性質と種類 / 格助詞

④ 文の初めにあり、感動を表している感動詞。

(2) 文末に「食べてしまうからだ」とあるので、説明・補足を表す接続詞を選ぶ。

(3) 副詞の場合は用言を、連体詞の場合は体言を修飾する言葉から、活用しないものを探す。

P.97 P.96 P.95 P.94

確認②

①

ア 限定 (2)

ウ 程度

解説

③

アは類推を示す。
イは限度を示す。

イ 類推 (2)

ア 例示 強調 (3)

確認①

② ①

ア 並立 (2)

ア 強調 (3)

イ

確認④ 確認③

③ (1) ① ② ① ④ (3) ② (1) ① ① ①

ウ 仮定 (2)

ア 確定 (2)

イ 仮定 (2)

10 助詞

接続詞

逆接 順接
逆接 順接
逆接 順接
逆接 並立
逆接 並立

接続助詞

並立 (4)



P.100

確認①

2 1

(4) (1) ①

たかっ せ 付属語
なく 活用
② 可能
③ 助動詞

11 助動詞

助動の種類と働き
① 付属語 ② 活用 ③ 可能 ④ 助動詞

P.99 P.98

まとめ 確認①

2 1

(2) (3) (2) (1) (3) (2) (1) (4) (1)

① ① ① イ イ
格 格 接続 (5) (2)
② ② ② ア ア
接続 終 格 (6) (3)
イ ア

格助詞…① 接続助詞…②
副助詞…③ 終助詞…④

順接

⑥の「ア」は主語を示す格助詞。⑥の「イ」は限度を示す副助詞。

第三章 単語のいろいろ

10 助詞

終助詞/まとめ

確認②

2

(2) (1) (1) (3) (2)

ア イ ① ①
は並立(へいりつ)を示す。(2) 限度 程度
アは動作の直後、ウは程度を示す。 ② ② 程度 限定

P.103

確認②

2 1

(6) (4) (3) (1) (3) (2) (1)

れる られる 見(ない) + られる
ア イ ウ (2) られる イ
れる ⑤ れる エ

11 助動詞

「れるられる/たいたがる」

P.102

確認①

2 1

(4) (4) (1) (4) (1)

尊敬 受け身
られ ② 可能
られ ③ 自発
れる

「始めれ(ば)」は、動詞「始める」の仮定形であり、助動詞「られる」が入った形ではない。

P.101

確認③ 確認②

2 1 2 1 3

(3) (1) (2) (1) (4) (1) (4) (1) (4) (1)

させる せる だ ない
させる ⑤ させ させ させ させ させ させ
② させ させ させ させ させ させ

③ ようだ ③ らしい



P.106
III 第三章 単語のつらう
11 助動詞
 [た／う・よう]

確認 1
 2 1
 (1) (1) (1)
 過去
 イ 完了の用法を探す。アは過去、ウは存続。

P.105
確認 1
 2 1
 (4) (1) (3) (1) (5) (2) (1) (1) (4) (1) (1)
 だろ ハトだ ね なかつ 聞こえない
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 誕生日です
 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)
確認 2
 2 1
 (4) (1) (1) (4) (1) (1)
 飲みます 飲みます 飲みます 飲みます
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6)
確認 3
 2 1
 (4) (1) (3) (1) (5) (2) (1) (1) (4) (1) (1)
 だろ ハトだ ね なかつ 聞こえない
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 誕生日です
 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)

P.104
III 第三章 単語のつらう
11 助動詞
 [ないぬか／だ／い／あ]

確認 1
 2 1
 (4) (1) (1) (4) (1) (1)
 たがり たがら たがら たがら
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5)
確認 2
 3 2 1
 (4) (1) (4) (1) (5) (1)
 たがり たがら たがら たがら
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5)
 (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3)
確認 3
 3 2 1
 (4) (1) (4) (1) (5) (1)
 たがり たがら たがら たがら
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5)
 (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3)
 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)
 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
 ア ア
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 イ イ
 (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3)
 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)
 ア ア

P.110
III 第三章 単語のつらう
11 助動詞
 [ま／い] その他／ま／い

確認 5
 5
 (1) (3) (2) (1) (3) (2) (1) (3) (2) (1)
 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
解説
 ①は動詞の連用形、②は終止形に接続。
 ①は形容詞の終止形、②は語幹に接続。
 ①は形容詞の終止形、②は語幹に接続。

P.109
確認 3
 3
 (4) (1) (1) (5) (3) (1) (1) (1) (1) (1)
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6)
確認 4
 4
 (1) (3) (2) (1) (3) (2) (1) (3) (2) (1)
 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
確認 5
 5
 (1) (3) (2) (1) (3) (2) (1) (3) (2) (1)
 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)

P.108
III 第三章 単語のつらう
11 助動詞
 [ま／い] その他／ま／い

確認 1
 1
 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3)
 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)
確認 2
 2
 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3)
 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)
確認 3
 3
 (3) (1) (1) (5) (1) (3) (1) (2) (1) (2)
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)
 (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3)
 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)
 (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3)
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
確認 4
 4
 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3)
 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)
確認 5
 5
 (1) (3) (2) (1) (3) (2) (1) (3) (2) (1)
 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)



P.111

確認⑥
まとめ

- ① ② ③
- (1) (4) (1) (5) (1) (1)
ア れる (2) **ア** ない (3) **イ** ます (4) **たい**
だ (2) **させ** (3) **なけれ**
られ (5) **だっ** (6) **そうな**
でしよ (1) **受け身** (2) **推量**
① 受け身 (2) **推量**
助動詞…せ 終止形…せる
ア (4) **ない** **そうだ** (順不同)
 ⑥と**ア**はたとえの用法。**イ**は推定。

P.112

第三章

単語のいろいろ

◆付属語

まとめ

確認①
①

- ②
- (1) (4) (3) (2) (1)
ア 活用するかしないかで見分ける。
よりは格助詞。
ばかりは副助詞。
まいは助動詞。
 希望を表す助動詞「**たい**」の連用形。
 (上から) (1) **は** **から** **に** **て** **らしい**
が **を** **に** **の** **へ** **だろ** **う**
さえ **ば** **は** **に** **たい** **よう** **だ**
 助動詞が二つある。「**だろ**」は断定の助動
 詞「**だ**」の未然形。「**う**」は推量の助動詞。
イ **格** (2) **ア** **副** (3) **ア** **接続**
イ **終** (5) **ア** **副**
 「**く**のために」という原因・理由を示す。

P.114

第三章

単語のいろいろ

テスト1

- ①
 ⑤ ① **カ** **ア**
 ⑥ ② **オ** **イ**
 ⑦ ③ **サ** **エ**
 ⑧ ④ **コ** **ウ**

解説

- ②
- (3) (3) (2) (1) (9) (7) (6) (4)
終止形は「たい」。
終止形は「だ」。
終止形は「せる」。
照しよう。▼P.151
終止形は「たい」。
「ちょうど終わった」という意味なので完了。
終止形は「だ」。
終止形は「せる」。
「起きられず」は、「起きることができ
ず」の意味なので、可能。アは自発。
「尋ねたが」の「が」とアは逆接の接
続助詞。イは主語を示す格助詞の「が」。

P.113

確認③
①

- ③
- (2) (7) (4) (1) (5) (4) (3) (2)
アは場所を示す。
 例示を示す。**イ**は類推を示す。
 順接の関係を示す。**イ**は逆接を示す。
 禁止を示す。**ア**は命令を示す。
 例をあげて他を類推させる。**イ**は限定を示す。
意志 (2) **否定** (3) **たとえ**
希望 (5) **受け身** (6) **完了**
断定 (8) **様態** (9) **使役** (10) **丁寧**

解説

②

〔自立語〕 上等だ・服・新しい・買う (順不同)
 〔付属語〕 を・ます・た・よ (順不同)
 〔自立語〕 「上等だ」 〓 形容動詞 「服」 〓 名詞
 「新しい」 〓 形容詞 「買う」 〓 動詞
 〔付属語〕 「ます」と「た」が助動詞。

③

集まる↓自動詞 始める↓他動詞
 鳴る↓自動詞

解説

④

他動詞・自動詞 ▼ P.42 確認①
 (1) ① カ ② イ ③ ケ ④ ア
 ⑤ キ ⑥ オ ⑦ コ

解説

①

「ある」は「ある」を修飾している。
 (1) ① 「ある」は「ある」を修飾している。
 (2) 「あつ」は補助動詞(形式動詞)。「ある」の連用形。▼ P.43 確認③
 断定の助動詞「だ」の連用形。なお、直前の「で」は

②

「ひどい」は形容詞。終止形が「い」で終わる
 用言を探すとよい。▼ P.54 確認①

③

「泳ぐ」↓「泳げる」、「話す」↓「話せる」、「走る」↓「走れる」のように、可能動詞になるのは、五段活用の動詞のみ。アの「見られる」は、上一段活用の動詞「見る」に可能の意味の助動詞「られる」が付いたものなので、可能動詞ではない。▼ P.42 確認②

●ら抜き言葉

五段活用の動詞以外は可能動詞にならない。したがって、「見れる」という可能動詞はない。また、「見ることができ」という意味で「見る」に可能の助動詞を付けるとすれば「見られる」を付けて「見られる」となる。「見られる」を「見れる」と言うのは、文法的には誤った言い方である。
 このように、本来「られる」を付けるべき動詞に「れる」を付ける言い方を「ら抜き言葉」という。「着れる」「起きれる」などであり、「着られる」「起きられる」とするのが正しい。

⑤

(1) 全 副詞 何事 も 助詞 我々 には 判らぬ 助動詞
 (2) ① 全 副詞 何事 も 我々 には 判らぬ 助動詞
 ② 全 副詞 何事 も 我々 には 判らぬ 助動詞
 ③ 全 副詞 何事 も 我々 には 判らぬ 助動詞
 ④ 全 副詞 何事 も 我々 には 判らぬ 助動詞
 ⑤ 全 副詞 何事 も 我々 には 判らぬ 助動詞

解説

(1) 「全く」は「判らぬ」を修飾する副詞。「全く」ぬ」と呼応し、否定を表している。▼ P.74 確認②
 (2) 活用の種類は、「ない」を付けてみて、その直前の音で見分ける。▼ P.50 確認① 活用形は、どんな言葉が下に続くかで見分ける。▼ P.44 ~ 47
 ① 「分らない」と、「ない」の前がア段の音なので五段活用。「ぬ」に続いてるので未然形。
 ② 「生きない」と、「ない」の前がイ段の音なので上一段活用。「て」に続いてるので連用形。



P.116

解説

①

- (1) 「行かない」を修飾する副詞。
- (6) **オ**
- (7) **イ**
- (8) **ア**
- (9) **ク**
- (10)(5) **カケ**

一語で一文節を作っているのが、自立語。

文の成分としては独立語だが、品詞は名詞。

「大きい」は形容詞だが、「大きな」は連体詞。

② 普通名詞…人間 文明 大都市 (順不同)

固有名詞…東京 数詞…ひとり

形式名詞…こと 代名詞…それ

解説

③

形容詞…さわがしい 活用形…**イ**
形容動詞…静かに 活用形…**イ**

形容詞か形容動詞かは終止形で見分ける。「い」で終われば形容詞。▼P.54 確認① 「だ・です」で終われば形容動詞。▼P.62 確認①



P.117

解説

④

(1) **A** **イ** **B** **カ** **C** **E**
名詞 (3) **ウ**
品詞名…形容詞 活用形…連用形
ちらりと

(2) 終止形…不思議だ 品詞名…形容動詞

(3) 「は」は副助詞。主語を作るので格助詞とまちがえやすい。▼P.96 確認①

(4) 「近く」は、形容詞「近い」が名詞に変わった



P.119

確認③

- ② (1) **アイ**
- ① (1) **イ**
- (2) (2) **イ**
- (2) (2) **ア**
- (3) (3) **ア**
- (3) **ウ**

【ある】の識別問題

確認②

ウ

確認①

- (3) (1) 動詞
- (4) (2) 連体詞
- (4) (2) 連体詞



P.118

- (8) ⑤は終止形。その他は連体形。動詞の終止形と連体形は語形が同じなので、あとに続く言葉で見分ける。▼P.46 確認③
 - (7) ⑥は格助詞。その他は断定の助動詞「だ」の連用形。▼P.121 確認④
 - (6) 終止形が「だ」で終わるのは、形容動詞である。▼P.62 確認①
 - (5) 「見るだけで／あった」の連文節を修飾する副詞。▼P.72 確認①
 - (4) 形容詞 ▼P.54 確認① ・ P.57 確認②
 - (3) 「置かぬ」と言い換えることができるので、この「ない」は助動詞。**ウ**は断定の助動詞「だ」の終止形。▼P.104 確認①・②
- もの。「近い所」という意味。このように、他の品詞から転じた名詞を「転成名詞」といい、普通名詞として扱う。

P.122

① (1)	【と】の識別問題	確認②	ア	確認①	(1)
		ウ	ア		
		(2)	イ	(2)	
		(3)	ア	イ	(3)

四章

重点学習

① まぎらわしい語の見分け方

【と】／【な】

P.121

② (1)	【で】の識別問題	確認④	ア	確認③	(1)
		イ	ア		
		(2)	ア	イ	(2)
		(3)	ウ		

P.120

① (1)	【だ】の識別問題	確認②	ア	確認①	(1)
		ウ	ア	イ	
		(2)	ア	イ	(2)
		(3)	イ	ア	(3)
(4)		イ			
(4)		ア			

四章

重点学習

① まぎらわしい語の見分け方

【だ】／【て】

② (1)	【が】の識別問題	確認④	ア	イ	(4)
		イ	ア	イ	
		(2)	ウ	ア	(2)
		(5)	ア	ア	(5)
(3)		ア			
(3)		イ			



P.125

確認③	ウ
-----	---

解説 「速く存在しない」と言い換えると意味が通じないのでこの「ない」は補助形容詞。イ「しない」は「せぬ」に置き換えられるので、この「ない」は助動詞。ウは形容詞。

P.124

② (1)	【ない】の識別問題	確認②	ウ	確認①	(1)
		ア	ウ	形容詞	
		(2)	イ	助動詞	(2)
		(3)	ウ	形容詞	(3)
(4)	ア	助動詞	(4)		

四章

重点学習

① まぎらわしい語の見分け方

【ない】／【に】

P.123

② (1)	【な】の識別問題	解説	ア	イ	(2)
		ウ	ア	イ	
		(2)	イ	イ	(2)
		(3)	ア	イ	(3)
(4)		ア			
(4)		ア			

解説 (2)は引用の格助詞。
ア「いろんな」の「な」は連体詞の一部。ウは断定の助動詞「だ」の連体形。
イは連体詞「小さな」の一部。ウは形容詞の連体形の活用語尾。

P.127

確認 3 「れる・られる」の識別問題

解説

(1) (1) (5) (1)
イ **イ** **エ**
 (2) (6) (2)
エ **ウ** **ア**

(1)と**イ**は受け身。**ア**は尊敬、**ウ**は可能、**エ**は自発。
 (2)と**エ**は可能。**ア**は受け身、**イ**は自発、**ウ**

P.126

確認 2 **確認 1** 格助詞 終助詞

【の】の識別問題

解説

(1) (1)
イ **ウ**
 (2) (2)
イ **イ**
 (3) (3)
エ **ア**
 (4) (4)
ア **イ**

「読むのが」「うるさいのが」「の」「の」は「こ」と「に」言い換えられるので、体言の代わり。

四章 重点学習

① まる／わりの語の見分け方

【の】／【れる・られる】

確認 4 【に】の識別問題

解説

(1) (1) (1)
ウ **ア** **イ**
 (2) (2) (2)
イ **イ** **ア**
 (3) (3) (3)
ウ **イ** **ア**

(1)と**ウ**は形容動詞の活用語尾。**ア**は副詞の一部。**イ**は格助詞。
 (2)と**イ**は副詞の一部。**ア**は格助詞。**ウ**は形容動詞の活用語尾。

P.130

四章 重点学習

② 語句の係り受け

解説

(1) (5) (1)
ウ **エ** **ア** **ア**

直後に読点があることに注意する。「バーゲンセールに」となっているので「つめかけた」に係ると考えられる。
 「いろんな」は連体詞なので、体言をふくむ文節に係る。
 呼応の副詞「なぜ」は「くか」と呼応する。
 (2) 小鳥のような

P.129 P.128

四章 重点学習

② 語句の係り受け 語句の係り受けの求め方

確認 5 **確認 4** **確認 3** **確認 2** **確認 1**

解説

(1) (1) (1) (3) (1)
選出します **裏切った** **結果を**
 (2) (2) (2) (2) (2)
水と・空気が **深まり** **向かって・いた**
成功するだろうと **負けても**
忘れない

は尊敬。
 (1)は可能、(2)は自発、(3)は受け身、(4)は尊敬。

解説

- (4) 「まるで」のような」と呼応する。
- (2) 「しつかりと」の直後に読点があるので、すぐあとの「真剣に考える」ではなく、「認識しておくべきだと」に係ると考えられる。
- (5) 認識しておくべきだと
- (4) 消滅しないと
- (3) 走っていたのを



3

- (2) A: なかつたので B: 驚いた
- (1) A: 開けると B: して
- (3) A: 面白がるので B: 報告する
- (4) A: 話されると B: 口調で
- (5) A: あつたのを B: 見つけたので

解説

- (2) 範囲内で係る言葉を探す。
- (5) B 「して」の直後に読点があるので、その
- (4) A: 話されると B: 口調で
- (3) A: 面白がるので B: 報告する
- (2) A: なかつたので B: 驚いた
- (1) A: 開けると B: して

4

- (4) A 「ときどき」は状態の副詞。主に動詞を
- (3) 「よく」は、「得る」ではなく「報告する」に係る。
- (2) 「重々しい」はどちらも「口調で」に係っている。
- (1) A 「ときどき」は状態の副詞。主に動詞を
- (3) 「よく」は、「得る」ではなく「報告する」に係る。
- (2) 「重々しい」はどちらも「口調で」に係っている。
- (1) A 「ときどき」は状態の副詞。主に動詞を

解説

- (3) 一週間ぶりの
- (2) 「昨日↓してしまった」と係る。
- (1) 「決して〜ない」という副詞の呼応。
- (3) 「一週間ぶりの↓会話を」「照れ笑いを交え

五章

敬語

敬語の種類

敬語の種類と使い方

た↓会話を」と係る。

P.132

確認 1

- (2) 行きます 丁寧語
- (1) いらっしゃる 尊敬語
- (3) 伺う 謙讓語
- (1) ア (2) ア

P.133

確認 2

- (3) 行きました (2) 一年生です
- (1) いいですか
- (3) ア (2) イ (3) イ (4) ア

P.134

確認 3

- (3) 「食べます」は丁寧語「ます」が使われている。
- (1) 相手の動作を高めた言い方は「召しあがる」。
- (3) 起きられる
- (1) お書きになる (2) お付けになる
- (3) ご説明になる
- (1) 召しあがる (2) おっしゃる
- (3) いらっしゃる (4) くださる
- (1) なさる

解説

- (5) 田中様・お名刺・どなた・お名前 (順不同)
- (3) 「お茶」「お米」「お金」は丁寧語(美化語)。
- (2) 話し手が自分の言葉遣いを上品にするために使う言葉である。「お名刺」「お名前」は、相手の事物にしか使わないので、尊敬語である。

P.135

確認④

解説

- ① (1) ア
 (2) イ
 (3) ア
 (4) ア
 (5) イ
- ② 小社・拙宅・粗品・私ども・愚息 (順不同)
 「ご研究」「井上殿」「御社」は、相手のことを高める言い方なので尊敬語。「お花」「お茶」は丁寧語(美化語)。

を高める言い方なので尊敬語。「お花」「お茶」は丁寧語(美化語)。

③

- (1) お書きする
 (2) お渡しする
 (3) ご連絡する
 (4) ご心配する
 (1) さしあげる
 (2) 申しあげる
 (3) いただく
 (4) 伺う

④

- (1) お目にかかる
 (2) いただき
 (3) 伺い
 (5) 申し

P.136

五章

敬語

敬語の種類

尊敬語と謙譲語の使い分け

確認①

- ① (1) イ
 (2) イ
 (3) ア
 (4) ア
 (5) イ
 (1) いらっしゃる
 (2) 拝見し
 (3) おる
 (4) くださる
 (5) おっしゃる
 (6) なさる

P.137

確認②

- ③ (1) お書きになって
 (2) お話しします (お話しいたします)
 (3) お待ちしています
 (4) お読みになった
 (5) ご案内します (ご案内いたします)
- ① (1) ア
 (2) イ
 (3) ア
 (4) ア
 (5) イ
 (6) ア

P.138

五章

敬語

敬語の種類

ご丁寧な敬語/間違えやすい敬語

解説

- (1) (4)は「お書きなさって」「お読みなさった」としても間違いではないが、「お(ご)……になる」と言うのが普通である。

確認①

解説

- (1) (1) ア
 (2) (2) イ
 (3) (3) エ
 (4) (4) ウ
 (5) (1) ア
 (6) (2) ア
 (3) (3) イ
 (4) (4) イ
- 「お風呂」は、相手への敬意ではなく、自分の言葉を美しくするものなので美化語。

P.139

確認②

解説

- (1) (1) ア
 (2) (2) イ
 (3) (3) エ
 (4) (4) ウ
 (1) 先生の動作なので、「見る」の尊敬語「ご覧になる」を使うのが正しい。
 (2) 相手の動作なので、「ご記入になつ(て)」とする。

②

- (1) (1) 父
 (2) (2) お伝えになって (お伝え)
 (3) (3) いらっしゃった
 (4) (4) 申して
 (5) (5) ご持参になっている (ご持参なさっている)
- 「お話しになる」の尊敬表現に、尊敬の助動詞「れる」と尊敬語「いらっしゃる」があり、敬語の重ねすぎである。

五章

敬語

テスト

1

尊敬語

2 謙讓語

3 丁寧語

解説

(1)は相手の動作なので尊敬語、(2)は自分の動作なので謙讓語、(3)は言葉遣いを丁寧ににする丁寧語。

2

ウ イ

ア ウ

イ

ア

3

おっしゃい

参る

ご報告する

4

さしあげ

いらっしゃる

伺う

解説

(3) (7) (6) 「伺う」は「行く・来る」の謙讓語。「先生」が主語になるので尊敬語を使う。

例 ご訪問になり(ご訪問なさい)

病氣

(4) 「弊社」は、自分の会社をへりくだって言う謙讓語。尊敬語「おっしゃって」ではなく、謙讓語「申して」を使うのが適切。

(5) 敬語が二重、三重に重ねられている。尊敬表現「ご……になる」+「……れる」+「いら

っしゃる」と、敬語が重ねられている。

(6) 「お(ご)……する」は謙讓語。「国王」が動作の主体なので、尊敬語「お(ご)……に

なる」を使う。

(7) 身内に尊敬語を使うのは間違い。「ご病氣」の「ご」は尊敬語なので、取って「病氣」とする。

六章

総合

総合テスト 1

1

文節：五 単語：八

解説

文節：「ヨーロッパの／伝統的な／料理の／手法を／学ぶ。」 単語：「ヨーロッパの／伝統的な／料理の／手法／を／学ぶ。」 「伝統的な」は一文節一単語。▼P.659

2

動詞

①

イ

②

エ

解説

(1) 終止形は「覚える」。▼P.40 確認①
 (2) ① 修飾・被修飾の関係 ▼P.14 確認①
 ② 補助の関係 ▼P.22 確認①

3

工

解説

工は名詞「脇道」に格助詞「に」が付いたもの。他は形容動詞。「くな」という形に活用させてみて意味が通じれば形容動詞。▼P.125 確認③

解説

(1) 「拝啓」は、手紙文の初めに書いて、相手への敬意を表す言葉。「つつしんで申しあげます」という意味の謙讓語。「敬具」で結ぶ。

5

(1) (3)

いただき

(4) 拝見

いたし

(2)

謙讓語

(3) になる

(なさる)

(4)

いただき

(5) 決まりましたら

(6)

聞く(尋ねる)

(7) お元氣↓元氣

(8)

おっしゃい(言われ)

(9)

「お元氣」「申され」は順不同

P.144

第六章

総合

総合テスト 2

解説

1

(1) (1)

七

(2) (2)

八

文節：「問題に／対して、／柔軟な／発想で／
対処して／いかななくては／ならない。」

P.143

解説

5

(1) (1)

イ

(2) ① ようだ

② ウ

イは主語を示す。他は連体修飾語を示す。

▼ P.91 確認2

(2)

① 「ように」は、助動詞「ようだ」の連用形。
② 「まるで生き物みたいに…」というたとえ
の意味。▼ P.108 確認2

解説

6

(1) (1)

① ア

② ア

(2) a 格

b 接続

① 動詞に付いているので助動詞。「ぬ」に置
き換えて意味が通じれば助動詞の「ない」。

▼ P.124 確認1・2

② 格助詞で場所を示す用法。イは接続助詞。

ウは断定の助動詞。エも格助詞だが、原因・
理由を示す用法。格助詞 ▼ P.92 確認4

見分け方 ▼ P.121 確認4

(2)

格助詞と接続助詞の見分け方 ▼ P.95 確認4

P.145

解説

4

(1) (2)

記号：ア 品詞名：連体詞 (3) 形容動詞

すべて体言(名詞)をふくむ文節を修飾してい
る。▼ P.15 確認2

解説

5

(1) (1)

ウ

(2) ア

(3) イ

(4) イ

引用の格助詞を探す。アは並立、イは共同を示
す。▼ P.92 確認4

解説

6

(1) (2)

① 破った ② 副詞 ③ 主語

「気さえする」の「さえ」は添加を示す。アは

付属語：「問題に／対して、／柔軟な／発想で／
対処して／いかななくては／ならない。」▼ P.659

① 驚きは、動詞「驚く」が名詞に変わった転成
名詞。アは助動詞、ウは動詞、エは副詞。

並立の関係 ▼ P.20 確認1

可能動詞 ▼ P.42 確認2

過去の助動詞を探す。ア・ウ・エは断定の助動
詞。▼ P.120 確認2

受け身の助動詞を探す。アは自発、ウは尊敬の
助動詞。エは可能動詞「走れる」の活用語尾。
れる・られる ▼ P.127 確認3

イ

エ

比較の基準を示すものを探す。イは限定、ウ・
エは起点を示す。▼ P.92 確認4

六章

総合

総合テスト 3

限定を示す。▼P.96 **確認①**

(2) ① 説明の文に、「とうとう」は「連用修飾語」

とあるので、「とうとう」が修飾する用言を
ふくむ文節を探す。▼P.15 **確認②** ・ P.128 **確認①**

② 活用のない自立語で、それだけで連用修飾
語になることができるのは副詞。▼P.70 **確認①**

③ 「ボクは」は、述語「破った」に対する主
語の働きをしている。▼P.12 **確認①**

①

私・毎朝・公園・走っ・い (2) **エ**

品詞：形容(詞) 活用形：連体(形)

エ

(1) 自立語は、文節の初めにあり、それだけで文節
を作れる。▼P.30 **確認①**

(2) 「みたい」は上の語に補助的な意味を付け加え
ている。▼P.22 **確認①**

(3) 「温かい」は自立語で活用があり、終止形が「
い」で終わるので、形容詞。▼P.54 **確認①**

また、「気持ち」という体言を修飾しているので、
連体形。▼P.57 **確認②**

(4) 「受ける」に「ない」を付ると、「受けーない」
と、直前の音が工段となるので、下一段活用。

▼P.50 **確認①**

また、「ます」に続くので、連用形。▼P.48 **確認①**

解説

②

(1) 「た」と「ように」は付属語(助動詞)なので、
エ (2) **I E II キ**

「あきれたように」で一文節。▼P.100 **確認①**

(2) **I** 「に」は活用のない付属語。▼P.90 **確認①**

II 力は接続助詞「のに」の一部。クは助動詞
「そうだ」の連用形「そうに」の一部。ケは
形容動詞「さわやかだ」の連用形「さわやか
に」の活用語尾。問題文とキの「に」は場所
を表す格助詞。▼P.125 **確認③④**

(3) 問題文の「諦めよう」の「よう」は、意志を表
す助動詞。▼P.107 **確認②**

③

(1) **例** なさっている(されている)

(2) **例** 主語が「先生」のときには、尊敬語を使う
のが正しいのに、謙讓語が使われているから。

解説

(1) 「して」の部分を尊敬語に直す。▼P.136 **確認①**

(2) 相手の動作については尊敬語を使うことを説明
する。▼P.132 **確認①**

④

(1) **三(つ)** (2) **読まれて** (3) **ウ**

「れ」は尊敬、「まし」は丁寧、「た」は過去を
表す助動詞。▼P.102 **確認①** ・ P.105 **確認③**

(3) **A・イ・エ**は、補助の関係。▼P.22 **確認①**

ウの「いる」は動詞で、「学校に」が「いる」
を修飾しているので、修飾・被修飾の関係。

▼P.14 **確認①**